

文部科学省プログラム

●平成21年度「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」に採択
「医工薬連環科学」教育システムの構築と社会還元～分子から社会までの人間理解～

医・工・薬の専門分野の境界を超えた 人間中心の学習環境づくりをめざして

近年、医療・福祉分野への工学の貢献は著しいものがあります。機械工学分野では各種の医療用装置やロボットなどの研究開発が活発に進められ、また製薬工学が発達して、製薬研究の中核を担うようになりました。しかし、人体を対象とする医学とモノを対象としてきた工学との連携体制は十分でなく、本格的な医・工・薬学分野の連環を実現するためには融合した教育体系・研究基盤の構築が不可欠です。こうした社会的要請に応えるべく関西大学では数年前から「医工薬連環科学」の体系作りに取り組んできました。その中で教育システムの構築に関するプログラムが平成21年度文部科学省「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」に採択されました。医工薬各分野の相互理解を助ける教育カリキュラムを策定・実施するため、関西大学、大阪医科大学、大阪薬科大学の3大学が共同で「医工薬連環科学教育研究機構」を設置。高槻市など地域への社会貢献を含め、歴史のある3大学がチームを組んで、「人間理解」をキーワードに、生命への洞察力と実践的な問題解決力を育む新しい人材育成の拠点を形成していきます。



現場での問題解決力を育む「医工薬連環科学」

プログラムの特色



●化学生命工学部
生命・生物工学科
土戸 哲明 教授

本学では従来より大阪医科大学、大阪薬科大学と学術協定を締結し、医療・福祉などの分野で期待される総合的知識や幅広い理解力を育てるさまざまな連携事業を進めてきました。今回採択された本プログラムは、この連携をさらに発展させたものです。取り組みの基盤となる「医工薬連環科学」は、自然科学の幅広い分野を扱う生命科学の中で特に健康・医療に関わる医学・工学・薬学を融合し、3分野の協調によって医療や福祉の現場での問題解決を進めようという目的を持った学問体系です。従来の生命科学領域になかった医工薬連環の全国モデルづくりをめざし、取り組んでいきたいと思えます。

プログラムの概要



●システム理工学部
機械工学科
倉田 純一 准教授

この取り組みの事業期間は平成21～23年度ですが、現行カリキュラムに基づく共通科目の開設からスタートし、専門科目や実験実習科目、演習科目の開発ならびに新カリキュラムの策定、遠隔講義システムの整備など、教育支援ネットワークの充実も含めた教育環境の整備を推進していきます。また、高槻市内にキャンパスを持つ3大学の連携という好条件を活かし、高槻市の行政、地域コミュニティとも協力して小中高生との交流、市民公開講座などを実施し、学問の地域還元と地域での交流活動の強化に向けて積極的に取り組んでいく予定です。

●平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラムに採択

景気に左右されない職業選択力を育む 関西大学キャリアサポート



●キャリアセンター事務局
吉原 健二 事務局長

関西大学では、将来の目標実現に向けて自律的に「考動」できる力を有した学生を育成するために、入学時からの導入教育、キャリア教育、インターンシップ、多様な就職活動支援など、段階的なキャリア形成支援を展開しています。

今回採択されたキャリアサポートプログラムは、平成18年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」に採択された「総合大学における標準型キャリア教育の展開～学生一人ひとりの勤労観・職業観を育む関西大学キャリア教育プログラム(K-CEP)～」の取り組みを延伸させた内容となっています。

具体的には、雇用環境が厳しい中でも、多くの企業や各種団体の協力のもと、学内企業セミナーや各界で活躍する卒業生との懇談会等の多彩なプログラムをダイナミックに開催して学生の就職活動を力強く支援します。さらには、従来のキャリアデザインルーム等での相談対応に加えて、キャリアセンター事務室内に専門相談員を配置して、学生一人ひとりに丁寧できめ細やかな相談・指導ができる体制を強化します。

社会貢献・連携事業／地域連携

大阪市立大学・大阪府立大学と連携記念公開講座を実施

関西大学と大阪市立大学、大阪府立大学は、昨年11月6日、大阪都市圏に立地する大学としてより活発な相互交流を推進するため、幅広く連携を強化していくことに合意し、包括連携協定を締結した。その連携事業のひとつとして、7月18日に大阪市中央公会堂において三大学連携記念公開講座「水都大阪“汽水”文化の都市と暮らし」が開催された。基調講演は、建築家であり関西大学客員教授、東京大学名誉教授である安藤忠雄氏による「なにわの履歴書 汽水文化が生んだ都市と暮らし」について、関西大学の高橋隆博教授、大阪市立大学の谷直樹教授、大阪府立大学の橋爪紳也教授が論議を交わした。



京都府城陽市と連携協力に関する協定を締結



関西大学と城陽市は、包括的な連携を行うことで合意に達し、7月17日に河田梯一学長、橋本昭男市長らが出席して調印式を行った。今後は、活力ある地域づくりと大学の活性化に寄与することを目的に連携協力することとしている。今回の連携協定は、関西大学が同市の地下水保全において「城陽市総合的な地盤及び地下水環境保全に関する調査」などの調査研究等に協力したことなどが契機となった。

大阪国学院と連携協力に関する協定を締結

関西大学は浪速中学・高校を運営する学校法人大阪国学院と連携協定を結び、6月9日に正式調印した。来年4月から浪速中学校に6年間の一貫教育を行う「関大クラス」を設け、学校名も「関西大学連携浪速中学校」に改称する。また浪速高校は従来の推薦枠を拡大し、入学前教育が受けられる高大接続パイロット校として高大連携教育を推進することとなる。